安全データシート

SDS レポート

編集日：	2016 年 8 月 2 日
最終用途：	車、ガラス、家庭用品などの清掃

セクション 1.　製品及び会社情報

1.1　製品情報

製品名：モノタロウ　セームクロス 3 色セット

1.2　物質または混合物の使用情報及び使用制限情報

物質/混合物の用途：車、ガラス、家庭用品などの清掃

1.3　会社情報

会社名　株式会社 MonotaRO
所在地　〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183　リベル 3 階
担当者名　商品お問合せ窓口
電話番号　0120-443-509
FAX 番号　0120-289-888
緊急連絡先　所在地と同じ
整理番号　M181211

セクション 2.　危険有害性の要約

2.1　物質または混合物の分類

規則(EC)1272/2008 に従った分類：
本品は CLP 規則に従って分類されない。
人及び環境への特定の危険有害性に関する情報：
本品は規則 1272/2008 の計算手順によりラベリングの必要なし。
SDS が利用できるものとする。
分類システム：
分類は規則 1272/2008 の最新版に従っており、会社及び文献データによって詳述している。

2.2　ラベル要素

規則(EC)No.1272/2008 に従ったラベリング：適用なし
危険有害性の絵表示：適用なし
注意喚起語：適用なし
ラベルの危険有害性決定成分：適用なし
危険有害性情報：適用なし
注意書き：適用なし

2.3　他の危険有害性

PBT 及び vPvB 評価の結果

PBT：適用なし
vPvB：適用なし

セクション 3.　組成、成分情報

3.1　化学的特性：混合物

説明：

下記に示す物質の混合物は無害添加物である。

記載されたリスクフレーズの文言はセクション 16 を参照。

成分：		
CAS 番号：9002-89-5	ポリビニルアルコール	96.1%
CAS 番号：9005-25-8 EC No.: 232-679-6	小麦澱粉	3%
CAS 番号：32289-58-0 索引番号 :616-207-00-X	ポリヘキサメチレン H351 発がん性 2；H372 特定標的臓器有害性、反復暴露 1；H318 重篤な眼の損傷 1 ；H302 急性毒性　経口 4；H317 感作性　皮膚 1B；H400 水生環境有毒性、急性毒性 1、H410 水生環境有毒性、慢性毒性 1	0.5%
CAS 番号：7732-18-5 EC No.: 231-791-2	水	0.3%
CAS 番号：12220-70-1	C.I.アシッドイエロー79	0.1%

セクション 4.　応急措置

4.1　応急措置の説明

一般的助言：医師の診察を受ける。担当医師にこの安全データシートを見せる。

吸入した場合：新鮮な空気を吸う。気分が悪い場合、医師に電話する。

皮膚に付着した場合：皮膚を水で洗う。皮膚の刺激が続く場合、医師の診察を受ける。

眼に入った場合：数分間水で丁寧に洗い流す。眼の刺激が続く場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：水で口をゆすぐ。気分が悪い場合、中毒センターまたは医師に電話する。

4.2　急性または遅発性の最重要な症状及び影響：関連情報なし。

4.3　迅速な治療及び特別な治療の必要性：関連情報なし。

セクション 5.　火災時の措置

5.1　消火剤

適切な消火剤：粉末消火薬剤、耐アルコール泡、二酸化炭素および散水

5.2　本物質または混合物から生じる特定の危険有害性：関連情報なし

5.3　消火を行う者への助言

保護具：

完全保護衣を着用する。

呼吸保護具

セクション 6.　漏出時の措置

6.1　人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
十分換気する。
保護具のない人を近づけない。
粉塵/エアロゾルの形成を防ぐ。
粉塵/エアロゾルの影響を防ぐ呼吸器保護具を使用する。
眼に入らないようにする。

6.2　環境に対する注意事項
本品を下水道/地表水または地下水に流してはならない。
水路または下水道に漏出した場合、関係当局に知らせる。
下水道/地表水または地下水に流さないようにする。

6.3　封じ込めと清掃の方法及び材料
機械で拾い上げる。
汚染した材料を項目 13 に従って廃棄物として処理する。

6.4　他のセクションの参照：
安全取扱いの情報はセクション 7 を参照。
身体保護具の情報はセクション 8 を参照。
廃棄情報はセクション 13 を参照。

セクション 7：取扱い及び保管上の注意

7.1　安全取扱いに関する注意：
作業場を十分換気/除塵する。
容器をしっかり密閉しておく。
粉塵/エアロゾルの形成を避ける。
粉塵/エアロゾルの影響を防ぐ呼吸器保護具を使用する。
眼に入らないようにする。
防火及び防爆に関する情報：防火のための通常の対策。

7.2　不適合物を含めて、安全保管の条件
保管室と容器の要件：
涼しい場所に保管する。
容器をしっかり密閉しておく。
1 つの共通保管施設に保管する場合の情報：
食品及び強酸化剤から遠ざける。
子供の手の届くところに置かない。
保管条件に関する追加情報：
換気の良い涼しい状態で保管する。
7.3　特定の最終使用：関連情報なし。

セクション 8：暴露防止及び保護措置

8.1　設備対策

作業場での監視が必要な制限値を有する成分：
本品は作業場で監視が必要な限界値を有する物質量を含んでいない。
導出無毒性量：データなし
予測無影響濃度：データなし
追加情報：マーキング中に有効なリストを基礎として用いた。

8.2　暴露防止

セクション 3 に示す成分に基づいて、労働安全対策として下記の措置を行うこと。
適切な工学的管理：
良好な産業衛生と安全基準に従って取り扱う。
休憩前と作業の終わりに手を洗う。
技術的設備の設計に関する情報はセクション 7 を参照。
身体保護具
呼吸器保護：適切な呼吸器保護具を使用するよう推奨する。
手の保護：保護手袋
手袋の材質は、本品/物質/調製に耐え、不浸透性でなければならない。
試験結果がないので、本品/調製/化学混合物に対する手袋の材質に関する推奨はない。浸透時間、拡散率及び劣化を考慮して手袋の材質を選択すること。
手袋の材質：
適切な手袋の選択は材質だけでなく品質マークにも依存し、製造者間で異なる。組成として手袋の材質の耐性は事前に予測できないので、使用前に確認する必要がある。
手袋の材質の浸透時間：
正確な浸透時間は保護手袋の製造者が明らかにすべきで、それを守らなければならない。
眼の保護：安全眼鏡
環境への暴露防止：
暴露対策は地域の環境保護規則に従わなければならない。

セクション 9：物理的および化学的性質

9.1　基本的な物理的および化学的性質の情報

外観：	
形状	固体、織物
色	黄色
臭い	無臭
臭気限界	データなし
pH-値	データなし
状態変化	
融点/溶融範囲	データなし
沸点及び沸点範囲	データなし
凝固点	データなし
引火点	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
分解温度	データなし
自己発火	製品は自己発火しない
爆発の危険性	製品は爆発の危険性がない
爆発限界	

下限値	データなし
上限値	データなし
酸化特性	データなし
蒸気圧	データなし
密度	データなし
相対密度	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発率	データなし
溶解性/混和性	
水	データなし
分配係数（n-オクタノール/水）	データなし
粘度	
粘性	データなし
動粘性	データなし
9.2　他の情報	データなし

セクション 10：安定性及び反応性

10.1　反応性：仕様書に従って使用する場合、分解しない。
10.2　化学的安定性：推奨する保管条件で安定している。
10.3　危険有害な反応の可能性：関連情報なし。
10.4　避けるべき条件：関連情報なし。
10.5　不適合材料：強酸及び強酸化剤。
10.6　危険有害な分解生成物：関連情報なし。

セクション 11：有害性情報

11.1　毒物学的影響の情報

急性毒性

分類に関する LD/LC50 値

1 CAS 番号：9002-89-5 ポリビニルアルコール		
ラット	LD50 経口投与	23854 mg/kg
マウス	LD50 経口投与	14700 mg/kg

皮膚腐食/刺激：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
重篤な眼の損傷/刺激：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
呼吸器または皮膚感作性：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
生殖細胞変異原性：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
発がん性：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
生殖毒性：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
STOT-単回暴露：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
STOT-反復暴露：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。
吸引性呼吸器有害性：入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たさない。

セクション 12：環境影響情報

12.1　毒性

水生毒性：

1 CAS 番号：9002-89-5 ポリビニルアルコール		
ゼブラフィッシュ	LC50	>5000mg/ℓ - 96 時間

12.2　残留性及び分解性

1 CAS 番号：9002-89-5 ポリビニルアルコール
水溶液中では生物分解すると予想される。
化学的酸素要求量：約 1600mg/g

12.3　生物蓄積性：関連情報なし。

12.4　土壌内移動性：関連情報なし。

12.5　PBT 及び vPvB 評価の結果

PBT：適用なし
vPvB：適用なし

12.6　他の悪影響：関連情報なし。

12.7　追加環境影響

一般的注記：水質危害クラス 2（ドイツ規則）(自社評価)：水生環境に有害
本品を地下水、水路または下水道に流してはならない。

セクション 13：廃棄上の注意

13.1　廃棄物の処理方法

勧告：家庭ごみと一緒に処理してはならない。

13.2　未洗浄の包装

勧告：地域/地区/国/国際規則に従って中味/容器を処理すること。

セクション 14：輸送上の注意

14.1　国連番号 ADR、RID、ADN IMDG、IATA	 適用なし
14.2　国連出荷正式名 ADR、RID、ADN IMDG、IATA	 適用なし
14.3　危険物クラス ADR、RID、ADN IMDG、IATA クラス ラベル	 適用なし 適用なし
14.4　容器等級 ADR、RID、ADN IMDG、IATA	 適用なし
14.5　海洋汚染	なし
14.6　使用者のための特別注意	適用なし
14.7　国連モデル規則	ー

セクション 15：適用法令

15.1　物質または混合物に関する特定の安全、衛生及び環境規制/法律

MAK（ドイツ：有害化学物質の最大現場濃度）：本成分の記載なし
指令 2012/18/EU
危険物質名ー付属書 I：本成分の記載なし
セベソ分類：適用なし

下位層の要件を適用するための適格量（トン）：適用なし
上位層の要件を適用するための適格量（トン）：適用なし
国家規則
水質危害クラス：水質危害クラス 2（ドイツ規則）（自社評価）：水性環境に有害
他の規則、法令及び禁止規則
REACH 規則付属書 XIV 認可の SVHC 候補リスト(17/12/2015)：本成分の記載なし
REACH 規則付属書 XVII 制限(16/2/2016)：本成分の記載なし
REACH 規則付属書 XIV 認可リスト（14/8/2014)：本成分の記載なし
15.2　化学物質安全性評価：化学物質安全性評価は行われていない。

セクション 16：他の情報

関連フレーズ：
H302：飲み込むと有害
H317：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318：重篤な眼の損傷
H351：発がんのおそれの疑い
H371：臓器の障害のおそれ
H400：水生生物に強い毒性
H410：長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
****
本 SDS の内容と形式は、規則(EC) No 1907/2006、1272/2008 および規則(EU) No 2015/830 に従っています。
責任の否認
本 SDS の情報は当社が信頼できると信じる情報源から得ています。しかし本情報は、その正確さに関して明示的暗示的にも保証するものではありません。本品の取扱い、保管、使用、処理の条件または方法は当社の管理を超え、当社の知識が及びません。そのような理由で、当社は責任を負わず、本品の取扱い、保管、使用、処理に関して起こる損失、損害または費用に対する責任を明確に否認します。本 SDS は本品のみに関して作成されたもので、本品のみに使用すべきです。本品が他の製品のコンポーネントとして用いられる場合、本 SDS 情報は適用できないことがあります。
****
略語と頭字語
ADR：道路での危険物の国際輸送に関する欧州協定
IMDG：国際海上危険物規則
IATA：国際航空運送協会
GHS：化学品の分類および表示に関する世界調和システム
CAS：化学情報検索サービス機関（米国化学学会の部門）
DNEL：導出無影響レベル(REACH)
PNEC：予想無影響濃度(REACH)
PBT：難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
SVHC：高懸念物質
LD50：半数致死量
LC50：半数致死濃度
Carc.2：発がん性、危険有害性物質カテゴリ 2
STOT RE: 反復暴露後の特定標的臓器毒性、危険有害性カテゴリ 1
Eye Dam. 1：眼への傷害/刺激、危険有害性カテゴリ 1
Skin Sens. 1B：呼吸器ままたは皮膚の感作性、危険有害性カテゴリ 1B
Acute Tox. 4：急性毒性、危険有害性カテゴリ 4

Aquatic Acute 1：水性環境への危険有害性－急性毒性、危険有害性カテゴリ 1
Aquatic Chronic 1：水性環境への危険有害性－慢性毒性、危険有害性カテゴリ 1
****
以下余白